

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県横浜市 脳卒中・神経脊髄センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上~400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ドI 訓	救 臨
人口(人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,759,939	38,737	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

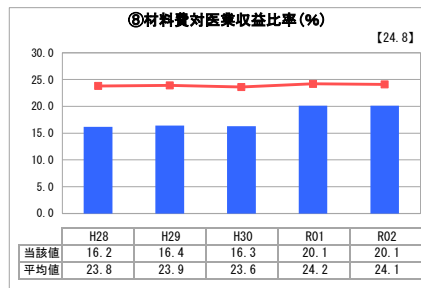
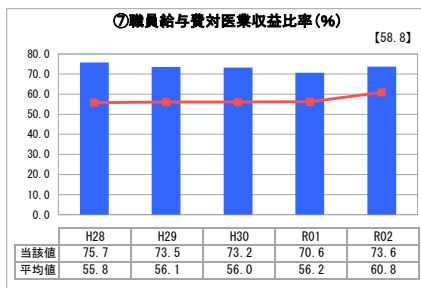
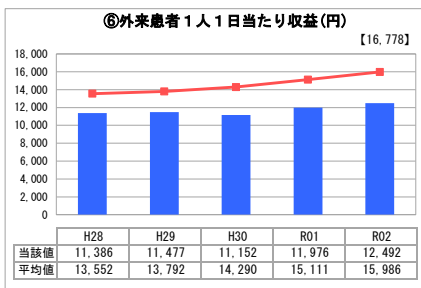
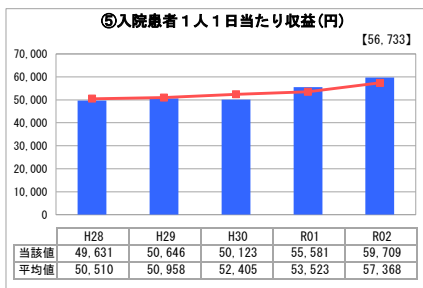
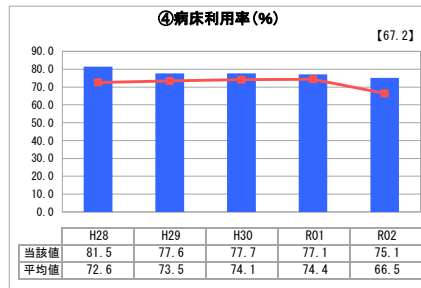
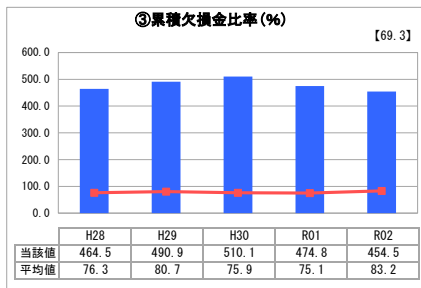
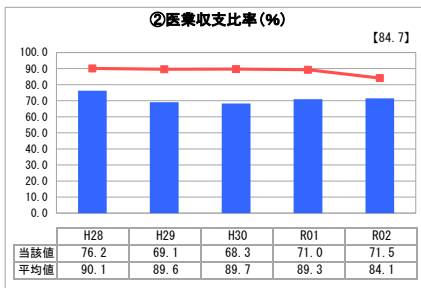
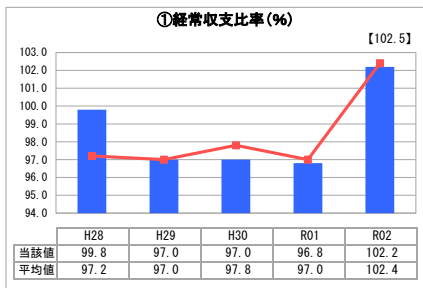
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
300	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	300
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
300	-	300

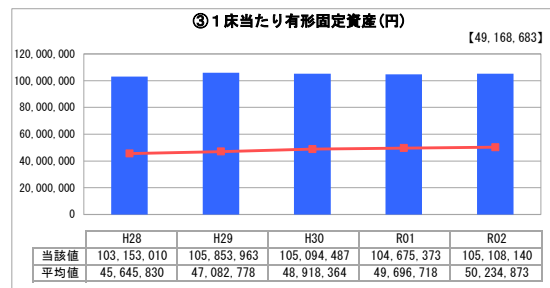
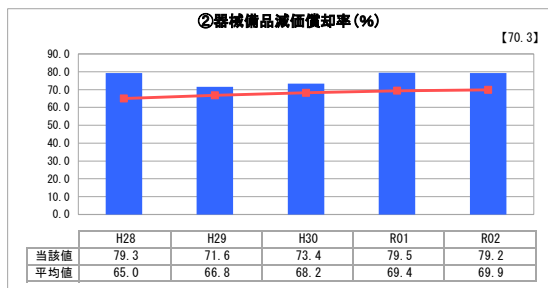
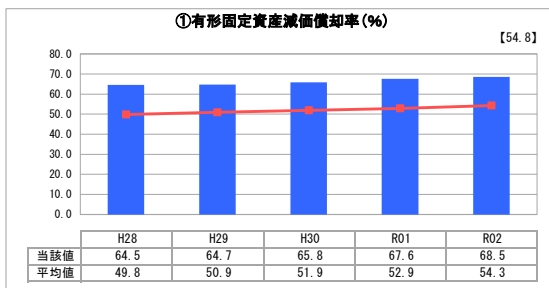
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

政策的医療を含む中枢神経全般に対する高度急性期・急性期から回復期までの一貫した医療機能を活かし、「脳卒中」「神経疾患」「脊髄脊髄疾患」「リハビリテーション」の専門病院として先進的な医療と臨床研究に取り組んでいます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

脳血管疾患に加え、神経・脊髄脊髄分野に診療機能を拡大したことなどにより、平成27年度に経常黒字となった後、入院患者数が伸び悩み、平成28年度以降は経常赤字が続いていました。令和2年度は、入院収益の増収や新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴う補助金等により、5年ぶりに経常黒字となりました。

2. 老朽化の状況について

平成11年開院の施設であり、建物等の設備についてしゅん工から20年以上が経過する中、老朽化の影響が少しずつ発生してきています。今後は、適切な修繕計画に基づき、メンテナンスを行っていく必要があります。

全体総括

平成30年から新たに、膝関節疾患にも診療機能を拡大したほか、他病院との円滑な連携により、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟の利用率向上を図ることなどにより、新規入院患者の確保を行い、経常黒字化を目指します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。